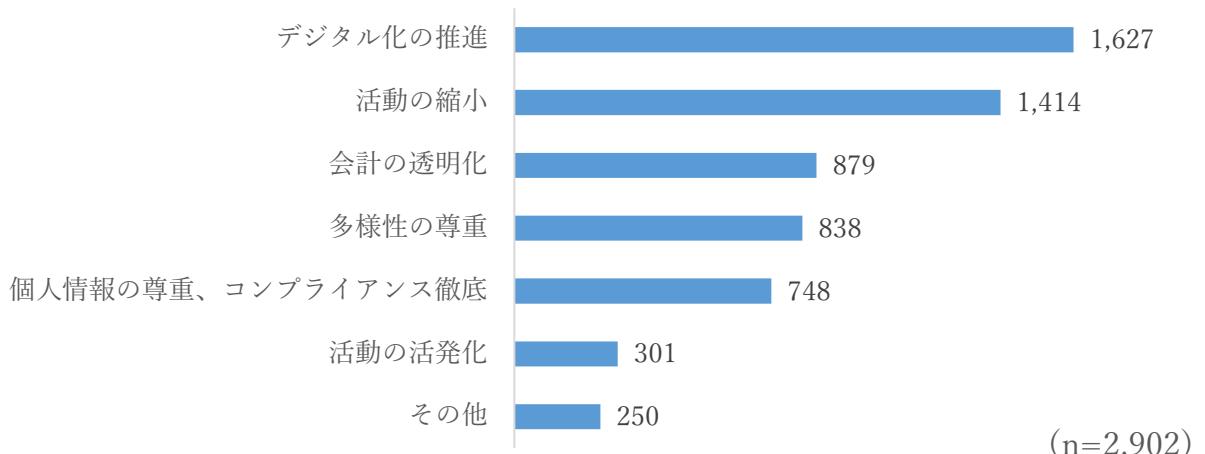


Q15.町内会に希望することは、どのようなものですか（複数回答）

「デジタル化の推進」が1,627件（56.1%）と最も多くなっている。年代別に見ると町内会加入者のうち40～50代の59.7%、20～30代の63.3%が「デジタル化の推進」を希望しており、若い世代に町内会活動に参加してもらうためにはデジタル化の取り組みが重要であることが伺える。

また「活動の縮小（多忙でも参加できる町内会化）」と回答したものは1,414件（48.7%）と約半数に達しているほか、「活動の活発化（新たなイベントの創出、既存イベントの拡大）」を求める回答者は301件（10.4%）と非常に少なく、活動の活発化よりも負担軽減を求める傾向にあることがわかる。

	回答数	割合
デジタル化の推進	1,627	56.1%
活動の縮小（多忙でも参加できる町内会化）	1,414	48.7%
会計の透明化	879	30.3%
多様性の尊重	838	28.9%
個人情報の尊重、コンプライアンス徹底	748	25.8%
活動の活発化（新たなイベントの創出、既存イベントの拡大）	301	10.4%
その他	250	8.6%



Q16. Q15の設問に対する「その他」の自由記載（主な意見）

他の回答者250件のうち自由記載に回答したのは228件。そのうち主な意見としては、「町内会の廃止・不要」というものが42件、「会費を振り込みにしてほしい」や「キャッシュレスの導入」など会費の徴収方法の変更が36件、ごみステーションや街路灯の市管理への移行が30件、「回覧板の電子化」など回覧板に関することが22件となっている。